

1～4年次前期・選択

2単位・30時間

【概要・目的】

本科目は、社会的に問題となっている、いじめ・不登校・非行・キレる子・障害児などの子どもの問題、児童虐待・DV・離婚などの家族内の問題及び中高年のうつ・自殺の問題を通して、現代社会における家族問題を探る。このような問題に対して関係機関や地域との連携の中で実際の支援のあり方を学ぶことにより、問題や課題を抱えた家族への医療人としての臨床的な対応の仕方を身につけることを目的とする。

【到達目標】

- 1) 家族の意義や家族の変遷について説明ができる。
 - 2) 児童虐待等の様々な家族問題について理解して説明ができる。
 - 3) 家族に生じている様々な問題と医療現場との関連や対応の仕方について説明ができる。
-

【内容・スケジュール】

- 1) 家族とは何か（家族の定義、家族の意味）
 - 2) 家族の変遷
 - 3) 発達課題から見た家族の役割
 - 4) いじめと家族問題
 - 5) 不登校と家族問題
 - 6) 情動的問題を抱える児童と家族問題
 - 7) 児童虐待と家族問題(理論編)
 - 8) 児童虐待と家族問題(事例編)
 - 9) 障害児と家族問題
 - 10) 離婚と家族問題
 - 11) 中高年のうつ・自殺と家族問題
 - 12) 家族問題を支える制度や関係機関
 - 13) 家族問題を支援する連携のあり方
 - 14) グループワーク
 - 15) まとめと振り返り
-

【評価】

筆記試験（70%）、出席状況、授業内容の理解、及び参加態度など毎回行う小レポートで確認（30%）

【教科書】

教科書の代わりに詳しいレジュメを配ります。

【推薦参考図書】

家族援助論 柏女霊峰＋山縣文治編 ミネルヴァ書房

【その他】 kuwahara2185@yahoo.co.jp